



第一礼拝次第

メッセージ：渡真利彦文牧師

プレイズリード：郭永東牧師

前奏			
頌栄	540	会衆	
主の祈り		〃	
プレイズ	「たたえよ栄光の神」	会衆	
	「わたしの望みは」		
聖書朗読	テサロニケ第一4:1~12	司会	
祈禱	(新約聖書 p377)	〃	
賛美	新生227	会衆	
メッセージ	「神に喜ばれる生活」	牧師	
祈禱		〃	
賛美	新生621	会衆	
献金			
報告		司会	
頌栄	新生672b	会衆	
祝禱		牧師	



第二礼拝次第

メッセージ・アドリアン・アルセ師

Come and see. Let's praise the Lord.



ファミリー礼拝

司会：渡真利千佳子姉

聖書：ルカ 22：14～23

メッセージ：「最後の晩餐」

<巻頭言>

「必要なものはただ一つ」

牧師 渡真利彦文

3月、自然の移り変わりに身を置き、また人間社会の年度末を迎え、回顧する時です。

神の民として一日一日を大切に生きて歩む。その時、様々な事柄に直面する中で、どのように物事を選び取るか、正しい選び、選択こそ、私たちにとって大きな課題です。毎日の歩み、私たちの生涯は選択の連続です。そして何かを選ぶとき、どのような基準に基づいて選び選択するか、基準・物差しが大切です。神の民として日々を大切にしながら、物事を正しく選び分け進むためには、何を基準にして判断し、選択していくのか、基準・物差しをはっきりさせておく必要があります。

ルカ福音書 10 章 41-42 節で主イエスはマルタに教えています。「マルタ、マルタ、あなたは多くのことに思い悩み、心を乱している。しかし、必要なことはただ一つだけである。マリアはその良いほうを選んだ。それを取り上げてはならない。」

何を選ぶかは、何を捨てるかの問題です。これもあれも捨てられたらどうしようかと心配し、気を使い混乱している。これがわたしたちの実情ではないでしょうか。どうしても必要なもの、取り去ることのできないものはわずか、一つだけだと悟ることこそ、私たちにとって大切な判断基準ではないでしょうか。どうしても必要なものは一つだけ！

神の国と神の義を第一に求めていくこの基準が明らかになる時、私たちの生活に一本筋が通るのです。筋金入りの生涯を歩むことになるのです。